



「当たり前と思わず、 見直してはと思った。」

～新聞の投書欄の声から、社会の見方を学ぶ～

先日、新聞の投書欄（読者が新聞社に送った原稿を掲載したページ）に右のような投稿がありました。

テレビを見ていた中3男子の息子の発言に、はっとしたと言うおそらく母親であろう中尾さんのこの投稿を読んで、私はドッキリしました。

もし、私が同じテレビ番組を見ていたとして、この中3の息子さんと同じように「これっておかしくない？」と違和感を持ってたろうかと考えたからです。そして、女子マネジャーが部員の大量の食事の世話をするのを、「当たり前」と思って見過ごし、何の違和感もなく「良い子たちだなあ」と感心していたのではないかと、自分の人権感覚の鈍さに気付かされたからです。

「家事やお世話的な仕事は女子がして当たり前」という考え方を「ジェンダー（性的役割分業）」といい、女性に対する差別やセクシャルハラスメントと深く結びついています。私たちの身の回り、社会のあちこちに根強く残っているジェンダーを注意深く見抜き、無くしていかなければいけません。

この新聞の投稿を読んだことは、私に大切な意識を呼び起こしてくれるとても大切な「学び」でした。あなたは、この投稿を読んで、どんなことを考えますか？

新聞や本、ニュースの中には、自分が知らなかったり気づかなかったりすることを学ぶ大切な情報があります。身近なTry Japanese、新聞コーナー、学校図書館にもあなたにとって貴重な学びがきっとあります。あなたも見直してみませんか？

コロナ禍で、スマホやタブレットでインターネットにアクセスし、ゲームやYou TubeなどのSNSを視聴する時間が増えていませんか？

インターネットはとても便利な情報ツールですが、その情報の中には根拠が不十分なものも含まれており、注意が必要です。また、長時間使用によって成長途中の脳がダメージを受け、体調や生活リズムを崩す小中高生が増えています。

ネットの長時間使用をやめられなくなり、体調を崩す「ネット依存」にならないよう、ネットの使用時間・ルールを見直しましょう。

女子マネの役割 見直す時では

パート 中尾 めぐみ

(愛知県 47)

先日、テレビを見ていた中3の息子の発言にはっとした。名門の高校相撲部の女子マネジャーが、激安スーパーで大量の買い出しをし、男子部員の夕食を作っている。「これって、おかしくない？ マネジャーは女子じゃない？」

合った。「食事作り＝女性の仕事」という古くさい固定観念に縛られ、学校が女子マネジャーを都合よく利用しているようにも映る。彼女らは志願して入部したとは思いますが、男子部員が交代で食事を作れば、体を作る上で自己管理の勉強にもなる——などと。トップを目指すには家族を含め色々な方の協力が必要だが、昔からある伝統・習慣を当たり前と思わず、見直してはと思った。

◆2月のおもな行事◆

- 2/ 1 生徒会専門委員会
- 2/ 3 1年生人権講演会（車いす体験・講演会）
- 2/10・11 大阪府私学入試
- 2/18 多文化の集い
- 2/19～24 市内中学生美術展
枚方市立サンプラザ市民ギャラリー
※コロナ感染防止のために中止
- 2/24 1年国語 学年末テスト(1時間目)
- 25・26 1・2年 学年末テスト
- 2/26 小学生中学校訪問(オンライン)

● スクールカウンセラー相談日 ●
4日(木) 10日(水) 18日(木) 24日(水)

◇ 3学期の主な行事予定 ◇
3/12 卒業式 3/24 修了式
※今後の状況によって、変更することがあります。

医療従事者や社会を支える仕事をしている人たちへの感謝と尊敬の心を持ち、
COVID19 感染者とその家族を温かく応援できる、優しく強い中宮中生になろう！